

平成30年度事業報告

○ 指定管理事業 234,832,630 円

1 文化事業 34,469,994 円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

(1) 展示運営更新 298,944 円

人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説を行った。また、川村修就コーナーの展示ケースを6月と1月の2回、展示替えした。

(2) 企画展示事業 4,077,630 円

新潟開港150周年記念の特別展を含む計4本の企画展を指定管理事業で実施した。

① 「キラリ★新潟＜美＞の刀剣」展 (1,887,411)

日本美術刀剣保存協会新潟支部会員が所蔵する刀剣を中心に、無銘左貞吉などの古刀をはじめ、新刀および新々刀、現代刀の打刀、太刀、脇差、短刀、薙刀、槍などの刀身および刀装具を紹介した。

会期中には、「耳から学ぶ刀剣」をテーマとした公開講座で、酒井忠久氏（致道博物館館長）から「世界に誇る日本刀文化」、近藤昌敏氏（日本美術刀剣保存協会新潟支部長）から「日本刀の魅力とその楽しみ方」と題してお話しいただいた。

開催期間 平成30年4月14日～6月3日 44日間

観覧者数 7,621人（うち有料観覧者 5,703人、無料観覧者 1,918人）

② 「玉と鏡の世界—西安・新潟友好交流特別」展 (24,550,108)

中国西安博物院との友好提携10周年と新潟開港150周年を記念し、西安博物院が所蔵する戦国・秦・漢・唐の各時代の玉と鏡を展示した。

会期中は、王鋒鈞氏（西安博物院副院長）の「玉と鏡—霊通之物」と岡村秀典氏（京都大学教授）の「古代の鏡を読む」の2本の特別講演をはじめ、「古代鏡づくり」、「勾玉づくり」、「古代鏡のチョコづくり」などの体験イベントや夜間開館した「お月見ナイトミュージアム」を実施した。

開催期間 平成30年9月15日～10月28日 41日間

観覧者数 4,512人（うち有料観覧者 2,394人、無料観覧者 2,118人）

③ 第15回むかしのくらし展「容れ物」 (1,233,115)

衣食住の日常生活や仕事、さまざまな行事などで使われた容れ物を中心に、むかしの道具の移り変わりを紹介した。

会期中は、実際に道具に触れながら学芸員の解説を聞く体験イベント「展示品をさわって・

聞いてみよう」や、「お弁当の歴史」と題したミニ講座を担当学芸員が講師になって実施した。

開催期間 平成 30 年 11 月 10 日～平成 31 年 1 月 27 日 62 日間

観覧者数 7,041 人（無料観覧者）

④「収蔵品展・新収蔵品展」 (124,002)

今年度は新規受け入れの資料を区別せず、新旧の収蔵品を織り交ぜながら約 100 点の館収蔵資料を公開した。

開催期間 平成 31 年 2 月 9 日～3 月 17 日 32 日間

観覧者数 6,176 人（無料観覧者）

(3) 教育普及事業 236, 759 円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報を活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。そのほか、レファレンス用の開架図書を購入した。

① 体験の広場事業

体験の広場の施設や資料を活用し、学芸員とボランティアスタッフ・外部協力者により、小学生や家族連れ・大人等を対象に各種の体験プログラムを計 86 回実施した。

② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等を行うほか、職場体験の中学生を受け入れるとともに、地域学習として市内の小学校へ出向いて授業を行った。また、新潟大学と連携して当館学芸員による寄附講義を開講するとともに、大学生を受入れ、通年および期間集中の館博物館実習を実施した。さらに、同志社大学留学中のドイツチュービンゲン大学の学生 2 名をインターンとして受入れた。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的として、幅広いニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

・博物館講座 全 10 回、古文書入門講座 全 4 回、館長講座 全 4 回など

④ ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを養成するとともに、その活動を支援した。さらに、1 月 12 日の旧税関庁舎再公開にあたっては、ボランティア主体の塔屋見学や各種イベントを実施した。その他ボランティアによる自主事業を多数開催した。

(4) 施設普及事業 1, 822, 343 円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」(3 回)、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

① 地域連携事業の実施

博物館近隣の市民団体や国・県などと共催で、新潟の港や下町の PR を目的に以下の事業を企画・開催した。

堀とさくらのコンサート (4/15 雨天中止)、夕涼みコンサート (8/18)、みなと・しもま

ち・川まつり(8/26 雨天中止)

② みなとびあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員に向けて提供した。また、会員向けの企画展鑑賞会・まちあるき「開港 150 年埠頭巡り」(10/26)・館長バスツアー「阿賀野市史跡の旅～北蒲原郡の大地主と在郷町～」(6/3)・館長講演会・学芸員による講座を実施した。

(5) 調査研究事業 505, 438 円

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。

そのほか、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、その成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要 15 号』にまとめた。

(6) 資料整理事業 1, 181, 341 円

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

① 保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校、板井保育園等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、IPMに則った各種の保存環境管理を行った。

② 資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録した。

(7) 開港150周年に向けた歴史文化魅力発信事業 26, 347, 539 円

① 「新潟開港 150 年史」刊行

新潟開港 150 周年の記念誌を編集・刊行した。

② 「玉と鏡の世界－西安・新潟友好交流特別展」開催

先述の特別展を本事業の一環で開催した。

2 文化施設管理受託事業 200, 362, 636 円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。なお、耐震補強等改修工事のため平成 28 年 6 月から休館していた旧新潟税関庁舎は 11 月末で工事が完了し、平成 31 年 1 月 12 日から再開している。

(1) 歴史博物館管理事業

① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）

② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）

③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

① 旧新潟税関庁舎

② 史跡（石段、石積み、石庫等）

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

※ 平成30年度歴史博物館入館者数 112,079 人（「旧新潟税関庁舎と史跡」展 5,086 人を含む）